

授業概要

本講義では、戦後の日本経営史を対象領域とし、戦後改革・復興期、高度成長期を経て現在までの経済発展と日本企業の変貌を概観する。戦後の日本企業は、欧米から先進的技術や経営管理方法を導入しながらも、それらを改良・消化し、日本的経営方式を築き上げてきた。授業では戦後三大経済改革の内容及び日本の経済・経営に与えた影響、アメリカからの経営管理手法の導入過程、さらに「日本的経営」の仕組み、特徴と最近の動向を検証し、日本の産業・企業の復興、発展の歴史を俯瞰していく。

授業計画

第1回	オリエンテーション（講義内容、講義方法、評価方法、参考文献など）
第2回	占領管理方式の特徴
第3回	労働改革と財閥解体
第4回	財閥から企業集団へ
第5回	アメリカ的経営管理方式の導入と定着① 戦前・戦時中の経営管理の近代化
第6回	アメリカ的経営管理方式の導入と定着② アメリカ的経営管理手法の導入
第7回	技術導入と研究開発① 石油化学工業の事例
第8回	技術導入と研究開発② 合成繊維工業の事例
第9回	日本の経済・経営発展——戦時経済から復興経済へ（映像資料使用）
第10回	トヨタ生産方式① トヨタ生産方式の源流、出発点と基本思想
第11回	トヨタ生産方式② トヨタ生産方式への評価、トヨタ生産方式の進化
第12回	「日本的経営」とは何か① 概説
第13回	「日本的経営」とは何か② 日本的経営の変革
第14回	新しい働き方① 終身雇用・年功序列と成果主義・業績主義
第15回	新しい働き方② 人間らしい働き方とは何か
第16回	期末テスト

到達目標

以下の内容を理解できるようになる。

- ① 日本の産業・企業が戦後混乱期から立ち直った歴史的経緯。
- ② アメリカから導入された技術・経営管理手法が戦後日本の経済・経営に与えた影響。
- ③ 「日本的経営」の内容と特徴。

履修上の注意

無断欠席、遅刻・早退、授業中の私語・スマホ操作は厳禁する。

予習復習

予習・復習は特に要求しないが、参考書は少なくとも一冊を通読することが望ましい。

評価方法

毎回授業後に提出するレポートと期末試験の成績を総合して評価する。

テキスト

テキストは特に使用しない。
講義中にプリントを配布し、講義内容に応じて参考書を適宜指示する。